

コアメンバー会議報告

1. 開催日時：2023年9月26日（火）19:00～22:00

2. 参加者：

Dr. Jean-luc Bretelle (France, EDF), Prof. Rudge Andy (UK, Manchester 大), Dr. Fruzzetti, Keith (EPRI), Prof. William Cook (Canada, New Bransvik 大), Prof. J. N. ProKim (Korea, Ulsan 大), Dr. Irene Mailand (Switzerland, Paul Scherrer Institute, PSI), Dr. Johan Öijerholm (Sweden, Studsvik), Hirotaka Kawamura (Japan, CRIEPI), Viricel Laure (事務局：France, EDF)

3. 概要：

本会議は、NPC への貢献度（NPC での発表実績）に応じ、6 か国の代表者（コアメンバー）およびそれに準じる貢献度が認められた 3 か国の代表者（準コアメンバー）とで構成され、NPC の今後の運営等を協議する。コアメンバーは、フランス、英国、米国、日本、カナダ、韓国の代表者である。日本は、これまでもコアメンバーとして参加しており、2023年の4月より日本原子力学会の水化学部会の部会長を務める報告者が渡邊豊前部会長（東北大学教授）に代わりコアメンバーとなった。準コアメンバーはスウェーデン、スイス、中国となった。出席者は上記の通り。

コアメンバーと準コアメンバーの確認を行った後、本国際会議の名称変更、および今後の運営等について協議した。

名称変更については、今回、ITER の水化学に関して発表があり、溶融塩炉などの水化学や放射線化学に関する発表の増加も予想されることから、"International Conference on Nuclear Plant Chemistry (NPC)"（別称："Int. Conf. on Chemistry in Nuclear Reactor Systems"）（案）とすることとなった。

次回以降の開催については、NPC2025として2025年9/25（月）～9/28（木）に韓国の釜山（General Chair: Prof. Kim, Ulsan 大）。次々回は、2027年9月末にカナダのオタワで開催予定（General Chair: Prof. William Cook, New Bransvik 大）。2029年は、本来は欧州開催の予定であるが、コアメンバー会議のChairであるProf. Andy Ruge（英国 Manchester 大）より、日本開催を打診された。日本開催の場合、日本原子力学会の水化学部会が主導してきたため、10/26の部会運営小委員会にて協議する。

【作成者氏名】河村浩孝（電中研）